

## 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／その他資産	
信託期間	2028年6月13日まで（2013年6月28日設定）	
運用方針	ファンド・オブ・ファンズ方式により、安定したインカムゲインの確保と信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型） 為替ヘッジあり	USエネルギーMLPファンド 受益証券およびマネー・プール マザーファンド受益証券
	USエネルギーMLPファンド	主にエネルギーや天然資源に関連するMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）等
	マネー・プールマザーファンド	わが国の公社債
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主にエネルギーや天然資源に関連するMLP等を主要投資対象とします。</li> <li>・外貨建（米ドル建）資産について、原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。</li> </ul>	
主な組入制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。</li> <li>・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li> </ul>	
分配方針	毎月13日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）原則として安定した分配を継続することを目指しますが、基準価額水準、運用状況等によっては安定した分配とならないことがあります。基準価額水準や分配対象収益を勘案し、委託会社が決定する額を付加して分配を行うことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

米国エネルギーMLPオープン  
（毎月決算型）為替ヘッジあり

愛称：エネルギー・ラッシュ

第118期（決算日：2023年5月15日）  
 第119期（決算日：2023年6月13日）  
 第120期（決算日：2023年7月13日）  
 第121期（決算日：2023年8月14日）  
 第122期（決算日：2023年9月13日）  
 第123期（決算日：2023年10月13日）

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジあり」は、去る10月13日に第123期の決算を行いましたので、法令に基づいて第118期～第123期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



## 三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、  
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## ファンドマネージャーのコメント

### ◎運用のポイント

当期間については、景気減速懸念の高まりを受けて変動性が高い市場環境が継続すると想定し、クオリティ重視のポートフォリオを維持しました。MLP市場ではM&A（合併・買収）を通じた業界再編の動きが活発化しています。ポートフォリオでは、買収を発表し財務体質の悪化が懸念される企業の組入比率を引き下げました。一方で、LNG（液化天然ガス）プロジェクトを手掛ける企業の組入比率を引き上げました。

### ◎投資環境と今後の運用方針

米国経済については、景気後退を回避し成長が続く「ノーランディング」との見方が強まる一方、政策金利は長期にわたり高い水準で維持されるとの見方が強まっています。現在、インフレは低下傾向にあります。しかし、賃金やコモディティ価格の上昇が続き、こうした傾向が反転するようなことがあれば、金融政策と景気見通しに大きな影響を及ぼす可能性があります。こうした中、エネルギー中流企業の投資魅力は相対的に高まっていると考えます。ロシアや中東などの主要な産油地域における地政学リスクの高まりを受け、米国に

おけるエネルギー増産への期待が高まる中、エネルギー中流企業各社の財務状況は過去と比べると大きく改善しています。加えて設備投資や分配金を巡る資本政策の開示は強化されており、投資家にとって安心感を高めていると考えます。当面は変動性が高い市場環境が継続する見通しですが、引き続き、積極的な投資姿勢を維持する方針です。



ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー  
プライベート・アセット・マネジメント・グループ  
ラクリン・グループ  
マネージング・ディレクター  
ダグラス A. ラクリン



マネージング・ディレクター  
パオロ R. フラットロリ

上記は、ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシーの資料を基に、三菱UFJアセットマネジメントが作成したものです。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 組	券 入	債 先	券 物	投 証	資 信	託 入	純 資	産 産
		税 分	込 配	み 金									
	円		円									百万円	
94期(2021年5月13日)	3,537		10							99.3		3,065	
95期(2021年6月14日)	3,903		10							98.7		3,295	
96期(2021年7月13日)	3,772		10	△	3.1					98.5		3,079	
97期(2021年8月13日)	3,577		10	△	4.9					98.2		2,862	
98期(2021年9月13日)	3,523		10	△	1.2					97.8		2,702	
99期(2021年10月13日)	3,872		10		10.2					100.3		2,841	
100期(2021年11月15日)	3,853		10	△	0.2					98.8		2,726	
101期(2021年12月13日)	3,641		10	△	5.2					98.5		2,510	
102期(2022年1月13日)	3,834		10		5.6					97.2		2,552	
103期(2022年2月14日)	3,819		10	△	0.1					98.5		2,500	
104期(2022年3月14日)	4,026		10		5.7					99.8		2,572	
105期(2022年4月13日)	4,206		10		4.7					98.8		2,619	
106期(2022年5月13日)	3,924		10	△	6.5					97.5		2,468	
107期(2022年6月13日)	4,148		10		6.0					98.3		2,610	
108期(2022年7月13日)	3,749		10	△	9.4					99.0		2,345	
109期(2022年8月15日)	4,205		10		12.4					97.3		2,589	
110期(2022年9月13日)	4,216		10		0.5					97.6		2,586	
111期(2022年10月13日)	3,650		10	△	13.2					99.4		2,224	
112期(2022年11月14日)	4,010		10		10.1					93.3		2,408	
113期(2022年12月13日)	3,912		10	△	2.2					99.4		2,323	
114期(2023年1月13日)	3,952		10		1.3					95.3		2,362	
115期(2023年2月13日)	3,813		10	△	3.3					97.9		2,305	
116期(2023年3月13日)	3,592		10	△	5.5					95.8		2,134	
117期(2023年4月13日)	3,711		10		3.6					97.9		2,165	
118期(2023年5月15日)	3,596		10	△	2.8					99.6		2,084	
119期(2023年6月13日)	3,578		10	△	0.2					98.0		2,018	
120期(2023年7月13日)	3,690		10		3.4					95.7		2,050	
121期(2023年8月14日)	3,615		10	△	1.8					99.2		1,993	
122期(2023年9月13日)	3,575		10	△	0.8					99.0		1,935	
123期(2023年10月13日)	3,357		10	△	5.8					99.1		1,797	

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	投 資 信 託 券 率
			騰 落 率	騰 落 率						
第118期	(期 首) 2023年4月13日	円 3,711	% -	% -	% -	% -	% -	% -	% 97.9	
	4月末	3,619	△2.5	-	-	-	-	98.8		
	(期 末) 2023年5月15日	3,606	△2.8	-	-	-	-	99.6		
第119期	(期 首) 2023年5月15日	3,596	-	-	-	-	-	99.6		
	5月末	3,453	△4.0	-	-	-	-	98.3		
	(期 末) 2023年6月13日	3,588	△0.2	-	-	-	-	98.0		
第120期	(期 首) 2023年6月13日	3,578	-	-	-	-	-	98.0		
	6月末	3,601	0.6	-	-	-	-	99.0		
	(期 末) 2023年7月13日	3,700	3.4	-	-	-	-	95.7		
第121期	(期 首) 2023年7月13日	3,690	-	-	-	-	-	95.7		
	7月末	3,659	△0.8	-	-	-	-	97.6		
	(期 末) 2023年8月14日	3,625	△1.8	-	-	-	-	99.2		
第122期	(期 首) 2023年8月14日	3,615	-	-	-	-	-	99.2		
	8月末	3,608	△0.2	-	-	-	-	98.4		
	(期 末) 2023年9月13日	3,585	△0.8	-	-	-	-	99.0		
第123期	(期 首) 2023年9月13日	3,575	-	-	-	-	-	99.0		
	9月末	3,402	△4.8	-	-	-	-	98.9		
	(期 末) 2023年10月13日	3,367	△5.8	-	-	-	-	99.1		

(注) 当ファンドの基準価額は、投資対象とする投資信託証券については、前営業日の基準価額を基に計算しております。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

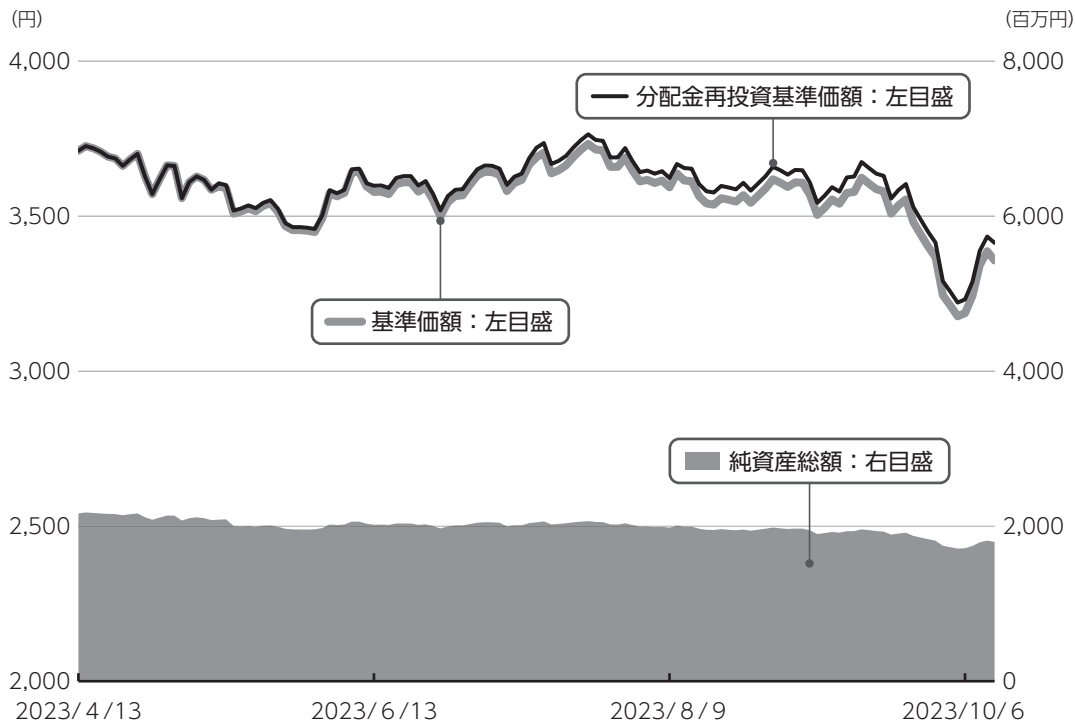
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第118期～第123期：2023年4月14日～2023年10月13日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第118期首	3,711円
第123期末	3,357円
既払分配金	60円
騰落率	-8.0%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ8.0%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

## > 基準価額の主な変動要因

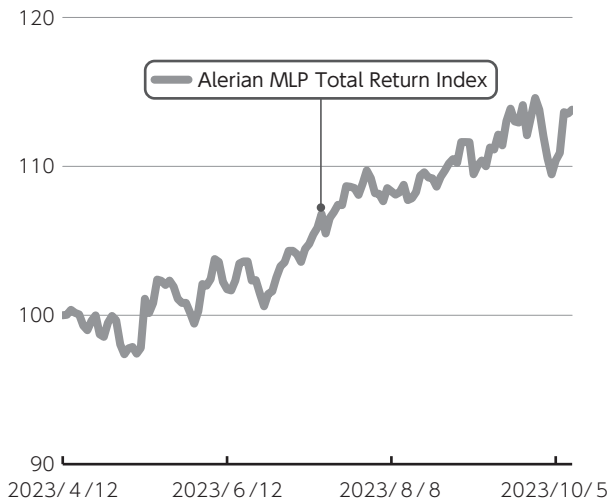
### 下落要因

個別銘柄（NEXTERA ENERGY PARTNERS LPなど）の株価が下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

第118期～第123期：2023年4月14日～2023年10月13日

## 投資環境について

### MLP市況の推移（当作成期首を100として指数化）



（注）「Alerian MLP Total Return Index」は、Alerianの登録商標であり、Alerianからの使用許諾に基づき使用しています。

（注）現地日付ベースで記載しております。

### 国内短期金融市場

**無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。**

期間の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.019%となりました。

### MLP市況

**期間を通してみると、MLP市況は上昇しました。**

期間の初めから2023年5月頃にかけては米連邦政府の債務上限問題への不透明感などを背景とした景気の悪化懸念などからエネルギー需要の低下が懸念され、下落する局面があったものの、その後は産油国による原油の減産発表などを背景に原油価格の上昇を受け、MLP市況は上昇しました。

## ▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ 米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジあり

米ドル建の外国投資信託であるUSエネルギーMLPファンド受益証券を高位に組み入れ、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行いました。

外貨建（米ドル建）資産については対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりました。

### ▶ USエネルギーMLPファンド

主にエネルギーや天然資源に関連するMLP等に投資を行いました。

ポートフォリオの構築に際しては、基本的にボトムアップ・アプローチによる独自のファンダメンタルズ分析を活用し、長期的な資産価値の創出が可能であり、支払われる分配金（株式に投資した場合における配当等を含みます）の増加が見込まれる銘柄等に投資を行いました。

MLP等の組入比率は、高位を維持しました。

個別証券の投資割合は、純資産総額の10%以内としました。

個別証券の期間中売買では、ANTERO MIDSTREAM CORP（石油・ガス貯蔵・輸送）やWILLIAMS COS INC（石油・ガス貯蔵・輸送）などの投資比率を引き下げた一方、NEW FORTRESS ENERGY INC（石油・ガス貯蔵・輸送）やSEMPRA（総合公益事業）などの投資比率を引き上げました。

### ▶ マネー・プール マザーファンド

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。



## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、分配金額を決定します。原則として安定した分配を継続することを目指しますが、基準価額水準や分配対象収益を勘案し、委託会社が決定する額を付加して分配を行うことがあります。この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第118期 2023年4月14日～ 2023年5月15日	第119期 2023年5月16日～ 2023年6月13日	第120期 2023年6月14日～ 2023年7月13日	第121期 2023年7月14日～ 2023年8月14日	第122期 2023年8月15日～ 2023年9月13日	第123期 2023年9月14日～ 2023年10月13日
当期分配金 （対基準価額比率）	10 (0.277%)	10 (0.279%)	10 (0.270%)	10 (0.276%)	10 (0.279%)	10 (0.297%)
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,182	1,184	1,190	1,193	1,196	1,198

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

### ▶ 米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジあり

引き続き、米ドル建の外国投資信託であるUSエネルギーMLPファンド受益証券を主要投資対象とします。外貨建（米ドル建）資産については原則として対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。また、マネー・プール マザーファンド受益証券への投資も行います。

### ▶ USエネルギーMLPファンド

引き続き、主にエネルギーや天然資源に関連するMLP等に投資を行います。ポートフォリオの構築に際しては、基本的にボトムアップ・アプローチによる独自のファンダメンタルズ分析を活用し、長期的な資産価値の創出が可能であり、支払われる分配金（株式に投資した場合における配当等を含みます）の増加が見込まれる銘柄等に投資を行う方針です。投資先のキャッシュ・フロー創出力や財務健全性に注意を払った銘柄選択を継続する方針です。

### ▶ マネー・プール マザーファンド

今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

2023年4月14日～2023年10月13日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第118期～第123期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	21	0.595	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(7)	(0.193)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(14)	(0.385)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.017)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.007	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.001)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.006)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	21	0.602	

作成期中の平均基準価額は、3,570円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

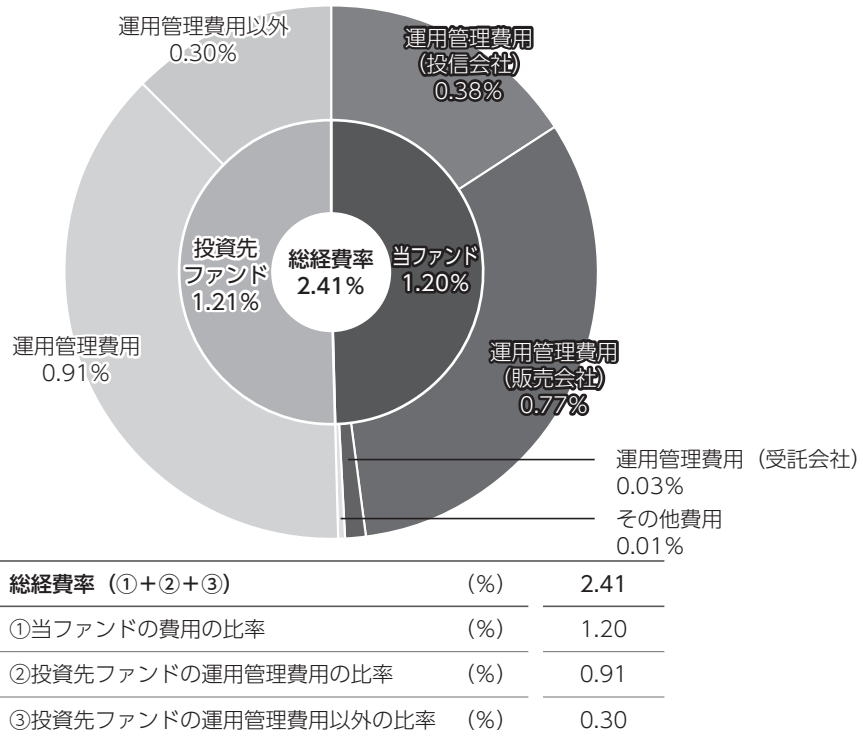
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は2.41%**です。



(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 入手し得る情報において含まれていない費用はありません。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2023年4月14日～2023年10月13日)

## 投資信託証券

銘柄		第118期～第123期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	千口	千アメリカドル	千口	千アメリカドル
	USエネルギーMLPファンド	352,814	1,177	1,243,212	4,106

(注) 金額は受渡代金。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年4月14日～2023年10月13日)

## 利害関係人との取引状況

## &lt;米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジあり&gt;

区分	第118期～第123期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	14,237	7,671	53.9	13,575	9,539	70.3
為替直物取引	110	57	51.8	600	86	14.3

## &lt;マネー・プール マザーファンド&gt;

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

## ○組入資産の明細

(2023年10月13日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

銘柄	第117期末		第123期末		比率
	口数	口数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	千口	千口	千アメリカドル	千円	%
USエネルギーMLPファンド	4,683,611	3,793,213	11,884	1,781,907	99.1
合計	4,683,611	3,793,213	11,884	1,781,907	99.1

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジありの純資産総額に対する比率。

## 親投資信託残高

銘柄	柄	第117期末	第123期末	
		口数	口数	評価額
マネー・プール	マザーファンド	千口 996	千口 996	千円 999

## ○投資信託財産の構成

(2023年10月13日現在)

項目	第123期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 1,781,907	% 96.3
マネー・プール マザーファンド	999	0.1
コール・ローン等、その他	67,509	3.6
投資信託財産総額	1,850,415	100.0

(注) 作成期末における外貨建純資産（1,796,958千円）の投資信託財産総額（1,850,415千円）に対する比率は97.1%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=149.94円		
-----------------	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第118期末	第119期末	第120期末	第121期末	第122期末	第123期末
	2023年5月15日現在	2023年6月13日現在	2023年7月13日現在	2023年8月14日現在	2023年9月13日現在	2023年10月13日現在
(A) 資産	円 4,160,259,301	円 3,956,083,573	円 4,039,701,822	円 3,986,351,082	円 3,858,740,194	円 3,600,172,780
コール・ローン等	52,680,658	57,278,964	68,690,280	27,052,887	90,966,975	67,508,568
投資信託受益証券(評価額)	2,076,121,786	1,978,851,985	1,961,298,056	1,978,242,461	1,916,375,051	1,781,907,461
マネー・プール マザーファンド(評価額)	999,701	999,701	999,701	999,602	999,602	999,602
未収入金	2,030,457,156	1,918,952,923	2,008,713,785	1,980,056,132	1,850,398,566	1,749,757,149
(B) 負債	円 2,075,489,125	円 1,937,116,580	円 1,989,557,169	円 1,992,780,695	円 1,923,575,720	円 1,802,749,637
未払金	2,055,897,074	1,925,784,977	1,975,580,442	1,984,946,444	1,914,317,212	1,787,566,342
未払収益分配金	5,797,130	5,643,309	5,556,251	5,514,957	5,413,418	5,354,536
未払解約金	11,560,567	3,782,722	6,435,523	193,859	1,927,260	8,011,979
未払信託報酬	2,213,844	1,887,923	1,966,736	2,105,916	1,900,205	1,800,097
未払利息	21	180	16	29	41	25
その他未払費用	20,489	17,469	18,201	19,490	17,584	16,658
(C) 純資産総額(A-B)	円 2,084,770,176	円 2,018,966,993	円 2,050,144,653	円 1,993,570,387	円 1,935,164,474	円 1,797,423,143
元本	5,797,130,243	5,643,309,963	5,556,251,290	5,514,957,671	5,413,418,775	5,354,536,335
次期繰越損益金	△3,712,360,067	△3,624,342,970	△3,506,106,637	△3,521,387,284	△3,478,254,301	△3,557,113,192
(D) 受益権総口数	5,797,130,243口	5,643,309,963口	5,556,251,290口	5,514,957,671口	5,413,418,775口	5,354,536,335口
1万口当たり基準価額(C/D)	3,596円	3,578円	3,690円	3,615円	3,575円	3,357円

## ○損益の状況

項 目	第118期	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期
	2023年4月14日～ 2023年5月15日	2023年5月16日～ 2023年6月13日	2023年6月14日～ 2023年7月13日	2023年7月14日～ 2023年8月14日	2023年8月15日～ 2023年9月13日	2023年9月14日～ 2023年10月13日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	9,476,304	8,824,514	8,944,018	9,466,944	8,775,038	8,181,262
受取配当金	9,438,338	8,843,727	8,999,781	9,435,848	8,783,401	8,103,203
受取利息	91,877	—	54,553	52,397	57,763	121,525
支払利息	△ 53,911	△ 19,213	△ 110,316	△ 21,299	△ 66,126	△ 43,466
(B) 有価証券売買損益	△ 67,717,174	△ 11,583,409	60,894,647	△ 43,148,331	△ 23,133,131	△ 117,641,877
売買益	2,142,908,842	2,089,386,821	2,089,463,747	2,112,035,478	2,001,561,259	1,822,338,898
売買損	△2,210,626,016	△2,100,970,230	△2,028,569,100	△2,155,183,809	△2,024,694,390	△1,939,980,775
(C) 信託報酬等	△ 2,241,150	△ 1,912,421	△ 1,984,937	△ 2,133,144	△ 1,923,371	△ 1,822,377
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 60,482,020	△ 4,671,316	67,853,728	△ 35,814,531	△ 16,281,464	△ 111,282,992
(E) 前期繰越損益金	△1,049,525,015	△1,078,182,643	△1,069,880,017	△ 998,208,707	△1,018,842,287	△1,027,234,296
(F) 追加信託差損益金	△2,596,555,902	△2,535,845,702	△2,498,524,097	△2,481,849,089	△2,437,717,132	△2,413,241,368
(配当等相当額)	( 511,627,893)	( 499,284,628)	( 491,864,269)	( 488,527,100)	( 479,787,538)	( 474,888,023)
(売買損益相当額)	(△3,108,183,795)	(△3,035,130,330)	(△2,990,388,366)	(△2,970,376,189)	(△2,917,504,670)	(△2,888,129,391)
(G) 計(D+E+F)	△3,706,562,937	△3,618,699,661	△3,500,550,386	△3,515,872,327	△3,472,840,883	△3,551,758,656
(H) 収益分配金	△ 5,797,130	△ 5,643,309	△ 5,556,251	△ 5,514,957	△ 5,413,418	△ 5,354,536
次期繰越損益金(G+H)	△3,712,360,067	△3,624,342,970	△3,506,106,637	△3,521,387,284	△3,478,254,301	△3,557,113,192
追加信託差損益金	△2,596,555,902	△2,535,845,702	△2,498,524,097	△2,481,849,089	△2,437,717,132	△2,413,241,368
(配当等相当額)	( 511,627,893)	( 499,284,628)	( 491,864,269)	( 488,527,100)	( 479,787,538)	( 474,888,023)
(売買損益相当額)	(△3,108,183,795)	(△3,035,130,330)	(△2,990,388,366)	(△2,970,376,189)	(△2,917,504,670)	(△2,888,129,391)
分配準備積立金	173,776,734	169,320,612	169,581,084	169,850,113	167,918,670	166,796,951
繰越損益金	△1,289,580,899	△1,257,817,880	△1,177,163,624	△1,209,388,308	△1,208,455,839	△1,310,668,775

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

① 作成期首（前作成期末）元本額 5,835,200,164円

  作成期中追加設定元本額 114,614,808円

  作成期中一部解約元本額 595,278,637円

また、1口当たり純資産額は、作成期末0.3357円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は3,557,113,192円です。

③ 分配金の計算過程

項 目	2023年4月14日～ 2023年5月15日	2023年5月16日～ 2023年6月13日	2023年6月14日～ 2023年7月13日	2023年7月14日～ 2023年8月14日	2023年8月15日～ 2023年9月13日	2023年9月14日～ 2023年10月13日
費用控除後の配当等収益額	7,235,113円	6,912,069円	8,689,736円	7,333,790円	6,851,667円	6,358,881円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	511,627,893円	499,284,628円	491,864,269円	488,527,100円	479,787,538円	474,888,023円
分配準備積立金額	172,338,751円	168,051,852円	166,447,599円	168,031,280円	166,480,421円	165,792,606円
当ファンドの分配対象収益額	691,201,757円	674,248,549円	667,001,604円	663,892,170円	653,119,626円	647,039,510円
1万口当たり収益分配対象額	1,192円	1,194円	1,200円	1,203円	1,206円	1,208円
1万口当たり分配金額	10円	10円	10円	10円	10円	10円
収益分配金金額	5,797,130円	5,643,309円	5,556,251円	5,514,957円	5,413,418円	5,354,536円

## ○分配金のお知らせ

	第118期	第119期	第120期	第121期	第122期	第123期
1万口当たり分配金（税込み）	10円	10円	10円	10円	10円	10円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

## ◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

## 【お知らせ】

委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。

2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。

(2023年10月1日)



## 〈参考〉投資する投資信託証券およびその概要

当ファンドは、米国エネルギーMLPオープン（毎月決算型）為替ヘッジありが投資対象とする米ドル建の外国投資信託証券です。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

名 称	U S エネルギー M L P ファンド
運 用 方 針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主にエネルギーや天然資源に関連するMLP（マスター・リミテッド・パートナーシップ）等*を主要投資対象とします。</li> <li>*MLP等には、MLPの出資持分のほか、MLPと実質的に同様の経済的な特徴を有するLLC（リミテッド・ライアビリティ・カンパニー）の出資持分、MLPに投資することにより主たる収益を得る企業の株式、およびMLPに関連するその他の証券を含みます。</li> <li>ポートフォリオの構築に際しては、基本的にボトムアップ・アプローチによる独自のファンダメンタルズ分析を活用し、長期的な資産価値の創出が可能であり、支払われる分配金（株式に投資した場合における配当等を含みます）の増加が見込まれる銘柄等に投資を行います。</li> <li>※エネルギーや天然資源関連以外のMLP等にも投資を行う場合があります。</li> <li>・MLP等の組入比率は、原則として高位を維持します。</li> <li>・個別証券の投資割合は、純資産総額の10%以内とします。</li> </ul>
投 資 顧 問 会 社	ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー* (Neuberger Berman Investment Advisers LLC)
信 託 期 限	無期限
設 定 日	2013年6月28日
会 計 年 度 末	毎年12月末
収 益 分 配	原則として、毎月分配を行います。

\*ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エルエルシー（所在地：米国）は、ニューバーガー・バーマン・グループの一員であり、同グループの運用会社としての機能を有します。ニューバーガー・バーマン・グループは、1939年創業の独立系運用会社であり、米国、英国、香港等に運用拠点を置き、株式、債券、オルタナティブ資産運用等を世界の機関投資家や富裕層向けに提供しています。（2023年4月末現在）

## USエネルギーMLPファンド

損益計算書、純資産変動計算書、投資明細表は、入手可能なFinancial Statementsから抜粋し、編集および一部翻訳したものです。

## 1. 損益計算書

2022年12月30日に終了する期間

(千米ドルで表示)

## 収益

受取配当金	4,850
受取利息	38
収益合計	<b>4,888</b>

## 費用

運用受託報酬	(1,185)
管理者報酬	(178)
専門家報酬	(417)
名義書換事務代行手数料	(15)
保管費用	(22)
受託者報酬	(10)
費用合計	<b>(1,827)</b>

<b>投資純利益（損失）</b>	<b>3,061</b>
------------------	--------------

投資売却に係る実現純利益（損失）	10,624
------------------	--------

<b>当期実現純利益（損失）</b>	<b>10,624</b>
--------------------	---------------

未実現評価益（評価損）の純変動：

- 投資	3,777
	<b>3,777</b>

法人所得税	(2,552)
-------	---------

<b>運用による純資産の純増減</b>	<b>14,910</b>
---------------------	---------------

(注) ( ) 内の金額は、マイナスの金額です。

## 2. 純資産変動計算書

2022年12月30日に終了する期間

(千米ドルで表示)

<b>期首純資産</b>	<b>147,735</b>
<b>純投資利益（損失）（税額控除後）</b>	<b>509</b>
投資に係る実現純利益（損失）	10,624
	<b>10,624</b>
<b>未実現評価益（評価損）の純変動：</b>	
- 投資	3,777
	<b>3,777</b>
追加設定	6,634
一部解約	(34,369)
再投資	7,369
支払分配金	(7,369)
	<b>(27,735)</b>
<b>期末純資産</b>	<b>134,910</b>

(注) ( ) 内の金額は、マイナスの金額です。

### 3. 投資明細表

証券取引所に上場されるか別の規制市場で取引される譲渡可能な証券

(2022年12月30日現在)

(千米ドルで表示)

#### 有価証券

銘柄	通貨	額面/数量	原価	時価	純資産比率
<b>CANADA</b>					
BROOKFIELD RENEWABLE COR-A	USD	75,000	2,844	2,066	1.53%
ENBRIDGE INC	USD	90,000	3,506	3,519	2.61%
PEMBINA PIPELINE CORP	USD	166,000	5,457	5,636	4.18%
TC ENERGY CORP	USD	112,000	5,617	4,464	3.31%
			<b>17,424</b>	<b>15,685</b>	<b>11.63%</b>
<b>UNITED KINGDOM</b>					
ATLANTICA SUSTAINABLE INFRASTRUCTURE PLC	USD	50,000	1,941	1,295	0.96%
			<b>1,941</b>	<b>1,295</b>	<b>0.96%</b>
<b>UNITED STATES</b>					
ANTERO MIDSTREAM CORP	USD	960,000	8,806	10,358	7.68%
CENTERPOINT ENERGY INC	USD	300,000	8,630	8,997	6.67%
CHENIERE ENERGY INC	USD	58,000	4,368	8,698	6.45%
CLEARWAY ENERGY INC-C	USD	254,000	9,026	8,095	6.00%
DOMINION ENERGY INC	USD	28,000	2,100	1,717	1.27%
DT MIDSTREAM INC	USD	50,000	2,386	2,763	2.05%
HESS MIDSTREAM LP - CLASS A	USD	180,000	4,495	5,386	3.99%
KINDER MORGAN INC	USD	140,000	2,285	2,531	1.88%
NEXTERA ENERGY PARTNERS LP	USD	144,000	10,378	10,093	7.48%
ONEOK INC	USD	154,000	4,836	10,118	7.50%
PHILLIPS 66	USD	18,000	1,240	1,873	1.39%
PLAINS GP HOLDINGS LP-CL A	USD	376,000	3,703	4,677	3.47%
SEMPRA	USD	64,000	8,495	9,891	7.33%
TARGA RESOURCES CORP	USD	144,000	3,916	10,584	7.85%
WILLIAMS COS INC	USD	306,000	6,805	10,067	7.46%
KINETIK HOLDINGS INC	USD	276,000	9,243	9,130	6.77%
			<b>90,713</b>	<b>114,978</b>	<b>85.24%</b>
<b>TOTAL INVESTMENT IN SECURITIES</b>			<b>110,078</b>	<b>131,958</b>	<b>97.83%</b>
CASH AT BANKS				2,312	1.71%
OTHER NET ASSETS				640	0.46%
<b>TOTAL NET ASSETS</b>				<b>134,910</b>	<b>100.00%</b>

# マネー・プール マザーファンド

## 《第28期》決算日2023年7月14日

[計算期間：2023年1月17日～2023年7月14日]

「マネー・プール マザーファンド」は、7月14日に第28期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第28期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	わが国の公社債に投資し、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主要運用対象	わが国の公社債
主な組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率	債組入比率	券率	債先物比率	券率	純総資産額
24期(2021年7月14日)	10,040	△0.0	—	—	—	—	141
25期(2022年1月14日)	10,040	0.0	—	—	—	—	52
26期(2022年7月14日)	10,039	△0.0	—	—	—	—	48
27期(2023年1月16日)	10,036	△0.0	—	—	—	—	47
28期(2023年7月14日)	10,035	△0.0	—	—	—	—	141

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	債組入比率	券率	債先物比率	券率
(期首) 2023年1月16日	10,036	—	—	—	—	—
1月末	10,036	0.0	—	—	—	—
2月末	10,036	0.0	—	—	—	—
3月末	10,036	0.0	—	—	—	—
4月末	10,036	0.0	—	—	—	—
5月末	10,035	△0.0	—	—	—	—
6月末	10,035	△0.0	—	—	—	—
(期末) 2023年7月14日	10,035	△0.0	—	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

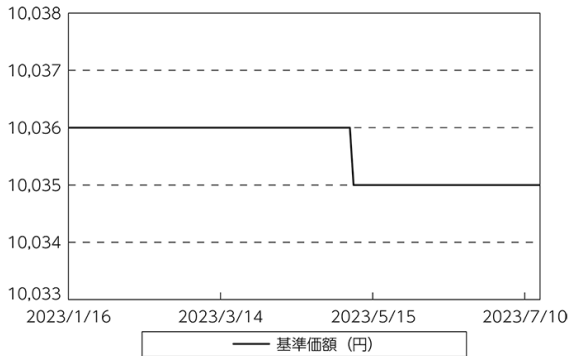
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ0.01%の下落となりました。

基準価額等の推移



## ●基準価額の変動要因

(下落要因)

運用資金に対するマイナス金利適用などが基準価額の下落要因となりました。

## ●投資環境について

## ◎国内短期金融市場

無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。

当期間の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、足下のコール・レートは-0.021%となりました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

コール・ローン等短期金融商品を活用し、利子等収益の確保を図りました。

## ○今後の運用方針

今後も日銀による金融緩和政策が継続すると想定されることから、短期金利は引き続き低位で推移すると予想しています。以上の見通しにより、コール・ローン等への投資を通じて、安定した収益の確保をめざした運用を行う方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2023年1月17日～2023年7月14日)

該当事項はございません。

## ○売買及び取引の状況

(2023年1月17日～2023年7月14日)

## その他有価証券

		買付額	売付額
国内	コマーシャル・ペーパー	千円 3,299,998	千円 3,199,998

(注) 金額は受渡代金。

## ○利害関係人との取引状況等

(2023年1月17日～2023年7月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2023年7月14日現在)

## 国内その他有価証券

区分	当期	期末
	評価額	比率
コマーシャル・ペーパー	千円 99,999	% 70.5

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

## ○投資信託財産の構成

(2023年7月14日現在)

項目	当期	期末
	評価額	比率
その他有価証券	千円 99,999	% 70.5
コール・ローン等、その他	41,871	29.5
投資信託財産総額	141,870	100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年7月14日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	141,870,583
コール・ローン等	41,870,607
其他有価証券(評価額)	99,999,976
(B) 負債	73
未払解約金	46
未払利息	27
(C) 純資産総額(A-B)	141,870,510
元本	141,379,662
次期繰越損益金	490,848
(D) 受益権総口数	141,379,662口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,035円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 46,862,606円  
 期中追加設定元本額 102,139,688円  
 期中一部解約元本額 7,622,632円  
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0035円です。

## ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

マナー・プール・ファンドVI	126,218,465円
世界投資適格債オープン(為替ヘッジあり)(毎月決算型)	5,154,901円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) マナー・プール・ファンドX(年2回決算型)	2,250,924円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) マナー・プール・ファンドIX(1年決算型)	1,898,016円
トレンド・アロケーション・オープン	997,308円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型) 為替ヘッジあり	996,215円
米国エネルギーMLPオープン(毎月決算型) 為替ヘッジなし	996,215円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	769,078円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	220,146円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	125,062円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	119,857円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インド・ルピーコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) 為替ヘッジなしコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	99,602円
国際 アジア・リート・ファンド(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	99,602円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) メキシコ・ペソコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 円コース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 米ドルコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 米ドルコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) ブラジル・リアルコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) メキシコ・ペソコース(1年決算型)	99,592円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) 円コース(毎月決算型)	99,592円
米国ハイ・イールド債オープン(通貨選択型) トルコ・リラコース(毎月決算型)	19,961円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) インドネシア・ルピアコース(1年決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) ロシア・ルーブルコース(毎月決算型)	9,986円
国際・キャピタル 日本株式オープン(通貨選択型) ロシア・ルーブルコース(1年決算型)	9,986円

## ○損益の状況 (2023年1月17日~2023年7月14日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 10,111
受取利息	265
支払利息	△ 10,376
(B) 当期損益金(A)	△ 10,111
(C) 前期繰越損益金	169,816
(D) 追加信託差損益金	357,984
(E) 解約差損益金	△ 26,841
(F) 計(B+C+D+E)	490,848
次期繰越損益金(F)	490,848

(注) (D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。



国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 中国元コース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) トルコ・リラコース (1年決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) 南アフリカ・ランドコース (毎月決算型)	9,960円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (1年決算型)	9,959円
国際・キャピタル 日本株式オープン (通貨選択型) ユーロコース (毎月決算型)	9,959円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジなし)	4,979円
欧州アクティブ株式オープン (為替ヘッジあり)	4,979円
合計	141,379,662円

## [お 知 ら せ]

三菱UFJ国際投信株式会社は、2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更します。